熊本県中学校総合体育大会　弓道競技
申し合わせおよび確認事項

令和5年（2023年）5月24日（水）
弓道競技　専門委員会

① ５ 競技方法（2）個人戦〇予選について
個人戦の予選は、「同時打ち起こし」での進行とする。
※個人戦の決勝は、「順次打ち起こし」での進行とする。

② ５ 競技方法（2）個人戦〇決勝について
個人戦の決勝における優勝決定戦は射詰めによる。全中により8射までに決定しない場合は小的（直径24cm）に変更して競技することもある。となっているが、残っている選手が全員的中しなかったときは、その時点で遠近法に切り替えて優勝を含む順位決定を行う。

③ ５ 競技方法（3）制限時間について
個人戦にもエントリーしている選手が、団体予選での結果を個人の部での的中とする場合もある。団体戦は制限時間が設けてあるが、個人戦には制限時間がないことから、もし団体戦の制限時間を過ぎても4矢を引くこととする。ただしこのとき、制限時間後の的中は、団体としては無効となる。個人戦の的中には数えられる。

④ ７ その他（2）補員との交代について
団体戦における補員は2名まで登録できる。
監督会議時の交代とは、「先発（予選1立目）選手の交代」という意味で、補員登録の選手が1，2，3番のいずれかに入ることとなる。これは交代の1回には数えない。
このとき、予選2立目以降に、選手申込書における〇番の選手が、選手交代で〇番以外の立ち順に入っても構わないこととなる。

⑤ ４ 参加制限について
同一の選手が、団体戦・個人戦ともにエントリーすることは可能である。このとき、競技における結果については、５ 競技方法（2）個人戦　のとおりとなる。
ただ、本大会は県弓道連盟や県中学生弓道協会が主催している大会（4月全国予選、6月九州予選、11月県新人大会等）とは違い、団体戦と個人戦は別エントリーです。
団体戦の予選で高い的中数であっても、個人戦のエントリーがなければ、個人戦入賞の資格はありません。

⑥ 大会全般について
大会参加のマナーについて、生徒（選手、応援含む）、保護者等すべて、マナーの向上を今一度お願いします。

以下は、令和5年度の特例とする。
（熱中症等の予防・防止を含め、競技時間の短縮を図るため）

⑦ ５ 競技方法（3）について　※③に加えて
制限時間については、団体予選・決勝ともに「目安の時間」とする。
また、競技時間の時間短縮を図るために団体決勝トーナメントも立射でおこなう。